



# うきにしだより

登校する子どもたちを、セミの大合唱が迎えます。いよいよ夏本番、花メイトの子どもたちが花壇に種を蒔いたヒマワリも、まぶしい陽ざしに向かってぐんぐん丈を伸ばしています。



70日あまりの1学期は、さまざまな「つながり」のある活動を通し、子どもたち自身が感じ、考える中でぐんと成長する姿が見られました。明日から42日間の夏休みが始まります。2学期に向け、さらに成長できるように、“じっくり”“ゆったり”そして“思い存分”挑戦できる時間を過ごさせてあげてください。

## 小さな箱を、のぞいて見ると・・・

5年生が図工の時間に、小さな箱の中にミニチュアの世界をつくりました。紙粘土や色がみ、セロハンなどの材料を使い、「ペンギンが住む氷の世界」「みんなで楽しむキャンプファイヤー」など思い思いの世界ができました。



できあがった作品を全校のみんなに見てもらおうと、6月27日(火)に「のぞいて見ると展」を開きました。外から懐中電灯で照らすと、色とりどりのセロハンで箱の世界が彩られます。訪れた子どもたちは、一つ一つの箱をのぞきながら、顔をほころばせていました。



## 園児と遊ぼう！ たのしんでね!!

7月14日(金)、1年生が浮西幼稚園の園児を招いて、交流しました。司会や遊びの進行をグループに分かれて担当し、話す内容やルール説明の台詞も自分たちで考え、小さなおねえさん・おにいさんになって披露していました。



最後に、自分で育てた朝顔を押し花にしたものを、しおりにし、一人ずつ手渡していました。

## トウモロコシ迷路を駆け抜けて！

3年生は、社会科で「つくる」仕事の一つとして、農家の仕事について学習します。大和高田市特産野菜に加え、トウモロコシ栽培のようすを調べたり見学したりしました。

7月11日(火)、4月に種を蒔いたトウモロコシの収穫に向かいました。大人の背丈よりも高く成長したトウモロコシを見て、歓声をあげる子どもたち。大きな実を見つけて、力いっぱい腕ぐ手応えにも驚いていました。さらに、地域の方々が、畑を「迷路」に仕立ててくださり、子どもたちは、右へ左へと駆け回り、充実感いっぱいの体験となりました。



今号では、学年を超えた「つながり」・地域との「つながり」の一端をご紹介しました。この1学期、何に力を注ぎ、どんなふうにかんばってきたかを是非話題にしてみてください。